

富山経協



熱帯スイレン (解説・15ページ)

CONTENTS

- 2 緊急調査
節電対策調査報告
- 4 TOP INTERVIEW
ハナガタ 花方 淳 社長
- 6 調査報告
2011年春季労使交渉の状況 (最終集計)
- 8 政策委員会、西部地区会員懇談会 (報告)
- 9 業務日誌
- 9 Keikyo行事レポート
- 12 参加者NOTES
- 14 会員の動き
- 16 新会員紹介
- 17 景況指標
- 18 INFORMATION (事業案内)
- 20 おしらせ・行事予定

節電対策調査報告

福島原発事故を受けて、富山においても節電の要請が6月15日出された。当協会は会員企業各社に緊急に「節電対策調査」(①貴社で取り組んでいることは何ですか? ②今回の電力供給不安についてのご意見は?)を行い、246社から回答があった(回答率56.7%)。

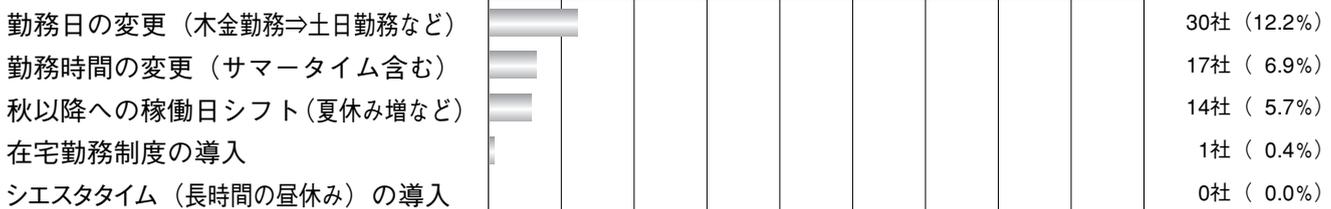
各社が実施(検討中を含む)している節電対策は、第1位「エアコン設定温度の見直し」、第2位「クールビズ、スーパークールビズの実施」、第3位「窓の開放、網戸の設置」であった。

電力供給不安への意見では「製造業の海外移転による空洞化」や「生産コストの負担増」を懸念するものが複数あった。

また、今後の各社の取り組みのヒントとなる対策事例を写真付きで紹介する。

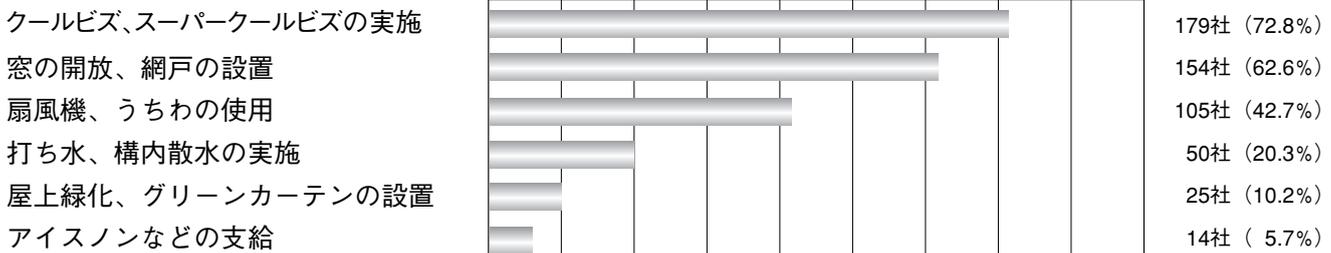
取り組み状況

<勤務体制>



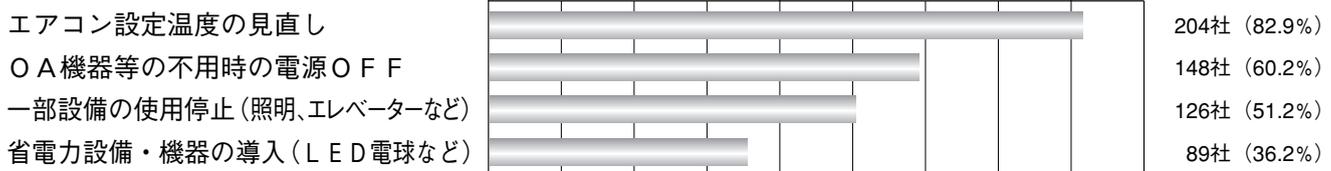
(その他) 定時退社の奨励、時間外労働の削減、有給休暇の消化促進、大型設備の稼働スケジュールの見直し
製造ラインを日勤から夜勤にシフト、管理職に省エネの視聴覚教育

<職場環境>



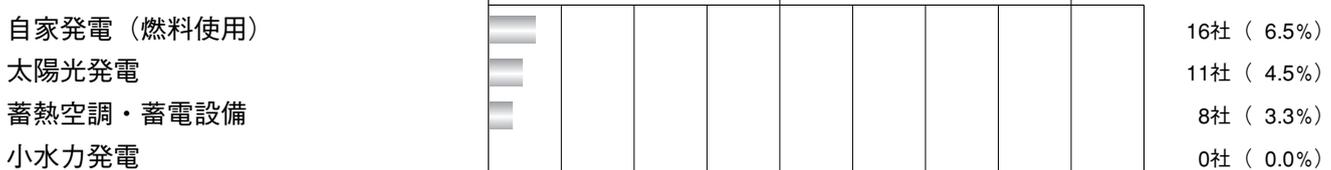
(その他) 窓に遮光材取り付け、屋根等へ断熱塗料を塗布、スポーツ飲料・塩熱アメ等の支給

<節電>



(その他) ビルのライトアップ停止、階段の利用促進、不在時の消灯・エアコンの停止、照明スイッチの細分化
蛍光灯すべてをヒモつきにしてこまめにON・OFF、廊下・トイレに人感センサー照明、LED照明
便座ヒーターや湯沸し器の停止、自販機の消灯と1/2停止、電気自動車の昼間充電中止
「デマンド」による電力量監視

<代替補完設備等>



(その他) バイオマス発電

節電対策事例

<若林商店>

サツマイモの水耕栽培による屋上緑化



<中越精器>

明かりとり窓へ設置された遮光ネット



工場窓に設置された遮光材



工場内の自動点灯を行なう照度センサー



<フードシステム>

風と一緒にミストを噴霧する移動式冷却機



<となみの工業>

デマンド監視モニターによる表示例



<コーセル>

太陽光発電状況の表示モニター



Hf蛍光灯の設置



Hf(高周波点灯)蛍光灯とは
蛍光管価格は従来型の2~3倍だが、
LEDよりはるかに安価。
省電力・長寿命でコストパフォーマンスが高い。

電力供給不安についての意見

- ・前年ピーク電力の15%ダウンの対応を準備している。
- ・夏場に受注が多く、かつ短納期の要請が厳しく、代替エネルギーがない中で節電は難しい。
- ・極力節電に協力したいが、業種柄取り組みには限界がある。
- ・製造業の海外移転加速を懸念。
- ・大手企業の勤務日変更対応への困惑と電気料金値上げへの懸念。
- ・県内でも本当に電力不足が発生するのか疑問。生産コストに影響する電力単価値上げも心配。
- ・節電はわが国の継続的な取り組み課題。原発反対の声もあるが、資源のない国において生産力確保のためには安全性を向上し、有効に活用することが必要。
- ・東日本以外での電力不安が災害復興の障害とならぬよう、政府・自治体の適切な動きが不可欠。
- ・省電設備導入の補助・助成金の充実を。
- ・さまざまな情報が飛び交うも、正確な情報が知りたい。

(ほか多数のご意見)

社内の風通し良くし 時代のニーズに対応

株式会社 ハナガタ
代表取締役社長

花 方 淳 氏



熱収縮のシュリンク包装機を主体に包装機械の専門メーカーとして、厳しい経済環境の中であって、ニッチ分野で頑張っておられます。

包装機械工業会には420社が加盟していますが、シュリンク包装機をつくっているのは5社だけ。一口に包装といっても非常に幅が広く、当社は薄いプラスチック・フィルムを使ってカップラーメン

や化粧品等の外装を包装する機械に特化しています
どんな分野が多いのですか。

食品が3割。ここ数年、製菓、IT関係など工業分野が増えています。すべてオーダーメイドで機械を受注・製作しています。国内ではインカートリッジ包装用に納めている大手家電メーカーが最大の得意先です。

リーマン・ショックに東日本大震災が加わりましたが、現状は。

設備系なので景気に随分左右され、業界全体としては落ち込んでいます。当社の売上げの約80%は国内ですが、従来の包装形態の見直しによる新しい需要開拓や、中国などへの海外展開を進めています。

部品製造から一貫して内製化されています。そのメリットは。

それが当社の特徴といえます。メッキなどを除き外注はしていません。元々、花方プレス工業所という板金加工の会社が出発点で、製造設備があったことからできたことです。納期の管理がしやすいことと、部品を知り尽くしたノウハウを持った作業者が、図面が無くても試作品をつくることができます。開発のスピード、コストの面でメリットがあり、お客様のニーズに応えることができます。

これまでL型自動包装機などを次々と開発され、昨年末には手動スリーブ機を出されました。

新商品は当社で考えたものを提供する場合が多いのですが、お客様やフィルムメーカーとの共同開発も少なくありません。また、小ロット対応として、20~30万円くらいの手動包装機を希望されるお客様も増えています。この分野は中国製が入ってきていますが、当社も参入しています。

省エネや環境対応への取り組みが求められています。

コストダウンの目的で省エネ機械を以前から製造していました。7割を占めるシュリンク包装機は、熱源の電気使用量をどう減らすかが一番の課題です。ヒーター効率を上げる装置や省エネモードボタンなど断熱方法の工夫などにより、

最新型機械の消費電力は従来比30%ダウンを実現しています。環境面を考慮し、塗装はシンナーや有機溶剤を使ったものから、できる限り粉体塗装に変えています。また、フィルムメーカーと植物由来の原料を混ぜた再生フィルム用の包装機械も開発し、昨年10月に開催された東京パックに出品しました。

— 中国、東南ア市場開拓 —

売上げの2割となる輸出は従来の米国に加え、中国が増えているようですね。

今まで米国中心だったのが、昨年あたりから中国への出荷額が米国を逆転しました。上海にショールームを開設して4年目。中国は現在、太陽電池がらみの仕事を中心ですが、化粧品や健康食品分野の包装が伸びると予想し、まず5月に上海での化粧品展にブースを設けPRを開始しました。中国や東南アジアは経済成長と共に人件費が高くなれば、今は人が行っている包装も機械化される大きな波がくると考えています。

社長は営業出身で海外駐在もデュッセルドルフとニューヨークに延べ3年半経験されています。

ドイツもアメリカも、当社はニチメン（現・双日）を通じて販売していたので、双方の提案が合致した部分があって赴任しました。

ドイツ時代は商社の社員としての仕事が多く、商売の進め方をはじめ海外での付き合い方、語学を含めいろいろ勉強になりました。

技術革新をしていく上で人材の育成策は。

板金、溶接、切削、塗装、仕上げと、グループごとにチームをつくり、若い人に技術を継承するように指導しています。オーダーメイドのため、部品や組み立て、アフターサービスなど、長い年月の中で独自に築いてきた固有技術があり、なかなかマニュアル化できない問題点がありました。そのため最近ではグループの枠をとり、多能工化を図るとともに、若手と年配経験者をペアにして一緒に仕事を繰り返す徒弟制度の導入も進めています。

社長になられて約2年ですが、ご自身の経営方針は。

現会長が社長のときは技術主体に工場を管理し、営業は商社に任せていたこともあってトップ指示が多く、なかなか下からの意見が出にくい雰囲気があったと思います。しかし、若い社員が増え、彼らの発想がこれからは必要になります。今、医療介護分野に使える包装機械を市場調査中です。いつまでもシュリンク包装、L型包装の枠にとどまっていたはだめだと思っています。

— 若手の会立ち上げる —

社内の風通しがよくなったようですね。

昨秋から20代、30代の“若手の会”を立ち上げました。社内は営業、設計、部品も工程ごとに分かれているので、結構セクショナリズムです。それを打破したいと、自由参加で月1回ほど、アフターファイブに10数人が集まって情報交換しています。私も3カ月に1回加わります。

ホームページには『日本を包む、花でありたい。』と素晴らしいキャッチフレーズが掲げられていますが、社長自身の座右の銘は。

『不易流行』という言葉が気に入っています。製品を包んでどこかに持っていくという包装のコンセプトは昔から全く変わりません。包装の材料が竹の葉から新聞紙、プラスチック、フィルムと変化してきて、これからは自然由来の原料を使ったフィルムも出てくるでしょう。包装の目的も時代とともに変わってきており、バブルの頃は包装自体に商品価値があり、過剰包装になることもありましたが、最近では逆に簡易包装が叫ばれています。私自身、「不易流行」を念頭に、柔軟に時代のニーズに対応しながら進化していこうと努めています。

— 略 歴 —

1965(昭和40)年7月生まれ。富山市出身。関東学院大工学部卒業後、セコム勤務を経て、1992年ハナガタ入社。営業部長、取締役、常務、代表取締役副社長から、2009年から現職。



「日本を包む、花でありたい」と、製品の前で

会社概要

株式会社 ハナガタ

創 業：1948年4月
所 在 地：富山市横内417
資 本 金：1,800万円
事業内容：包装機械製造・販売、レンタル
従業員数：60人(2011年6月末現在)
売 上 高：7億5,000万円(2010年3月期)
U R L：http://hanagata.co.jp/

調査報告

2011年春季労使交渉の状況

1. 富山経協調べ

県内企業の妥結状況

60社加重平均1,664円、アップ率0.66%

当協会は「2011年春季労使交渉・県内企業業種別妥結結果（最終集計）」を取りまとめた。

(表1)

それによると、県内企業から寄せられた回答のうち集計可能60社の妥結額平均は1,664円で、アップ率は0.66%となった（いずれも加重平均）。

業種別にみると、製造業35社の妥結額平均は1,942円、アップ率は0.77%。非製造業25社の妥結額平均は1,394円、アップ率は0.54%となっている。

妥結額の分布は、「0円」が13社(21.7%)と最も多く、次いで「2,000円以上2,500円未満」が8社(13.3%)となった。

(図表2)

また、アップ率の分布は、当然「0%」が13社(22.0%)と最も多く、以下「1.4%以上1.8%未満」が8社(13.6%)、「1.2%以上1.4%未満」が7社(11.9%)と続いている。

(図表3)

なお、妥結額・アップ率ともに加重平均が単純平均をかなり下回っていることから分かるように、従業員規模が比較的大きい企業において厳しい対応がなされている。

定期昇給、ベースアップなど賃上げの内容については、定期昇給のみ実施した企業が36社(55.4%)と最も多く、次いで定昇制度はないが昇給を実施した企業が15社(23.1%)となっている。一方、定期昇給、ベースアップともに「なし」とした企

(表1) 2011年 春季労使交渉・県内企業業種別妥結結果（加重平均）

2011年6月30日現在

(社)富山県経営者協会

業 種	2011年			2010年		
	社数(社)	昇給額(円)	アップ率(%)	社数(社)	昇給額(円)	アップ率(%)
織 維	3	284	0.12	4	4,171	1.59
パルプ・紙・紙加工品	1	—	—	3	4,161	1.58
印刷・同関連	2	2,827	1.27	3	2,751	1.28
化学・薬品	6	1,472	0.52	10	4,585	1.54
プラスチック製品	3	3,524	1.56	3	3,605	1.59
窯業・土石	1	—	—	0	—	—
鉄鋼・非鉄金属	1	—	—	3	3,022	0.83
金属製品	4	2,366	1.04	4	1,850	0.81
一般機械器具	5	2,077	1.05	5	2,918	1.16
電気機械・電子部品	1	—	—	3	2,729	1.17
輸送用機械器具	4	1,448	0.56	1	—	—
その他製造業	4	3,940	1.23	3	1,590	0.73
建設業	1	—	—	4	3,752	1.37
電気・ガス	1	—	—	2	192	0.07
情報サービス・通信	5	3,130	1.11	4	3,379	1.29
運輸・倉庫	7	1,698	0.66	6	1,878	0.71
卸・小売業	8	2,518	1.04	6	2,391	1.00
金融・保険	0	—	—	2	557	0.18
サービス業・その他	3	628	0.27	6	3,240	1.19
全業種平均	60	1,664 (2,647)	0.66 (1.03)	72	2,395 (3,293)	0.91 (1.27)
製造業平均	35	1,942 (2,695)	0.77 (1.09)	42	3,094 (3,452)	1.18 (1.37)
非製造業平均	25	1,394 (2,579)	0.54 (0.93)	30	1,823 (3,070)	0.69 (1.14)

(注) ① 昇給額には、定期昇給等を含む。

② () 内は単純平均による数値、それ以外の数値は加重平均による。

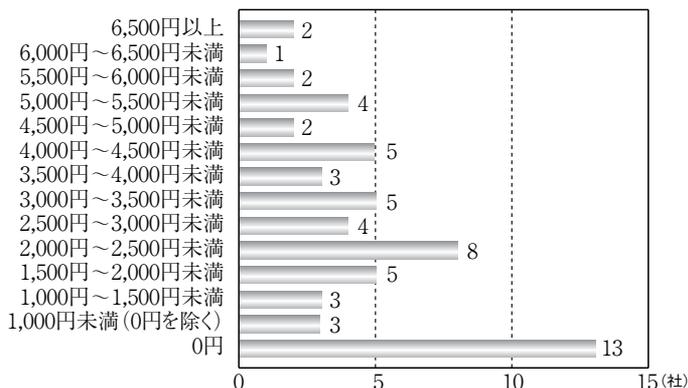
③ 集計社数が少なく数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる。

業が3社見られた。

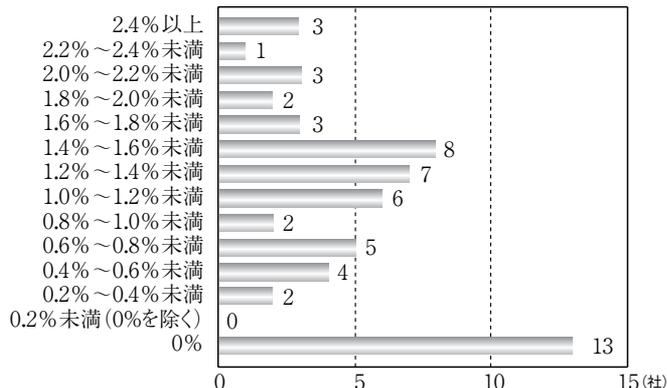
労使交渉に際して最も重視した要素としては「企業業績」を挙げる企業が44社(80.0%)と多く、「世間相場」が6社(10.9%)、「労使関係の安定」5社(9.1%)と続いている。

〈最終集計〉

(図表2) 妥結額の分布



(図表3) アップ率の分布



2. 日本経団連調べ

大手企業の妥結状況

112社平均5,842円、アップ率1.85%

日本経団連は6月10日、「2011年春季労使交渉・大手企業業種別妥結結果(加重平均)」の最終集計を発表した。(表4)

それによると、調査対象(21業種、大手248社)のうち19業種184社(74.2%)で回答(了承・妥結含む)が示された。このうち、平均額が分かっている15業種112社の総平均は5,842円、アップ率1.85%で、昨年の最終集計結果と比べると、額・率とも横ばいとなった。

業種別にみても、前年の最終集計と同水準の傾向は同じであり、製造業106社の平均は5,789円、アップ率1.85%、非製造業6社の平均は6,176円、アップ率1.87%であった。

(表4) 2011年 春季労使交渉・大手企業業種別妥結結果(加重平均)

〔最終集計－2011年6月10日〕

(社)日本経済団体連合会

業 種	2011年			2010年		
	社数(社)	妥結額(円)	アップ率(%)	社数(社)	妥結額(円)	アップ率(%)
非鉄・金属	7	5,523	1.81	8	5,396	1.77
食品	13	6,418	2.02	15	6,601	2.10
繊維	17	5,574	1.91	17	5,502	1.85
紙・パルプ	6	4,823	1.58	6	4,844	1.58
印刷	2	5,488	2.15	3	4,816	1.93
化学(硫安含む)	14	6,170	1.94	17	5,747	1.70
[化学]	[10]	[5,997]	[1.85]	[17]	[5,747]	[1.70]
[硫安]	[4]	[6,550]	[2.16]	[0]	[—]	[—]
ゴム	2	4,785	1.60	2	4,983	1.67
鉄鋼	11	3,819	1.21	11	3,742	1.17
機械金属	2	6,888	2.39	3	6,317	2.06
自動車	19	6,371	1.99	19	6,284	1.97
車輜	3	5,854	2.03	3	5,846	1.99
造船	10	4,315	1.42	2	6,000	1.94
商業	2	(従)5,881	1.54	2	(従)5,956	1.54
私鉄[J R]	3	—	—	3	—	—
通運	1	—	—	1	—	—
ホテル	0	—	—	1	—	—
総平均	112	5,842 (5,379)	1.85 (1.78)	113	5,886 (5,383)	1.86 (1.76)
製造業平均	106	5,789 (5,368)	1.85 (1.79)	106	5,840 (5,359)	1.86 (1.76)
非製造業平均	6	6,176 (5,571)	1.87 (1.70)	7	6,167 (5,744)	1.85 (1.75)

(注) ① 調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手248社
 ② 19業種184社(74.2%)で回答が出ているが、このうち72社は平均金額不明などのため集計から除外
 ③ 平均欄の()内は一社あたりの単純平均
 ④ (従)は従業員平均(一部組合員平均を含む)
 ⑤ 集計社数が2社に満たない場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる
 ⑥ 上記妥結額は、定期昇給(賃金体系維持分)等を含む
 ⑦ 2010年の数値は、2010年6月10日付最終集計結果

西部地区会員懇談会



笠井副会長



植出副知事



稲垣会長



綿貫副会長

7月7日(木)、ホテルニューオータニ高岡で、会員企業から111名が参加して、西部地区会員懇談会を開催した。

この懇談会は毎回趣向をこらした企画で楽しんでいるが、今回は、チャリット+カルテットを招き、ジャズライブを開催。サマータイムやベサメムーチョのポピュラー曲など、12曲を堪能した。

懇親会では、笠井西部地区担当副会長が「稲垣会長の“不確実性が増す中で、これからはジャズのように一人一人がバラバラに演奏しているようで実はまとまりがある経営方法も考えていかなければなら

ない”との言葉からヒントを得て、ジャズライブを企画した」と開会の挨拶をした。石井知事の来賓挨拶(植出副知事代読)をいただいた後、稲垣会長が「震災後、政治、経済ともますます強いリーダーシップを発揮できる人材が求められている。私も含め、この地域の経営者としてリーダーシップを持ち、地域の発展に貢献していきたい」と挨拶し、乾杯した。

なごやかに会員相互の懇親を深め、綿貫副会長の「経営者、従業員が一丸となって切磋琢磨し、この難局を乗り切るためにも、経営者協会を大いに活用してほしい」との中締めで散会した。

政策委員会

西部地区会員懇談会に先立ち同ホテルで、稲垣会長はじめ副会長、常設委員会委員長ら9名が出席して、7月度政策委員会を開催した。

はじめに事務局から、2011年度第一四半期の活動実績として、①会員企業数は、今年度13社入会により7月1日現在435社となった。②委員会活動では、より活性化を

図るため積極的に新委員を募っている。③会議、講座、セミナー等への参加者は前年を若干上回り、1,227名となっている。参加人数の増加と、さらに内容の充実を図っていくとの報告があった。

次に、一般社団法人移行について、①公益目的事業、その他事業、法人運営事業の実施事業案、②公益目的財産額と公益目的支出計画実施期間、③公益目的支出計画実施期間中の収支見込み案について

審議し、承認された。今後、9月政策委員会において、移行申請書案を審議承認後、富山県に提出し、来年3月認可承認を得て4月1日登記するスケジュールを確認した。

新入会員企業4社の紹介後、9月2日に実施する新講座「第1回TQM 経営者トップミーティング」、同じく9月27日実施の「企業理念見学会」立ち上げの趣旨、内容を確認し、経営者層の参加を積極的に進めていくこととした。

業務日誌

2011年 5月11日～7月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	5月17日(火)	富山経協・研修室	23名
	経営特別委員会	経営特別	6月10日(金)	富山経協・会議室	11名
	富山県自衛協会 定期総会		6月10日(金)	富山経協・研修室	16名
	教育委員会 研究部会	教 育	6月13日(月)	富山経協・研修室	9名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	6月13日(月)	富山経協・研修室	20名
	社内コミュニケーション部会「社内報合評会」	総 務	6月14日(火)	富山経協・会議室	13名
	政策委員会		7月 7日(木)	ホテルニューオータニ高岡	9名
	西部地区会員懇談会		7月 7日(木)	ホテルニューオータニ高岡	106名
セ ミ ナ ー ・ 講 座	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	5月12(木)、19(木)、25日(水)	富山経協・研修室	33名
	営業力基礎コース	教 育	5月16・17日(月・火)	富山商工会議所ビル	31名
	ビジネス・マナー習得コース	教 育	5月19日(木)	富山商工会議所ビル	49名
	品質工学実践講座	品質管理	5月20日(金)	富山経協・研修室	16名
	人事・労務管理セミナー(第1回)	人事・労務政策	5月24日(火)	富山経協・研修室	27名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	6月2、9、16、23、30日(木)	富山経協・研修室	33名
	中堅社員活性化コース	教 育	6月7・8日(火・水)	富山商工会議所ビル	45名
	社内コミュニケーション実務講座	総 務	6月14日(火)	富山経協・研修室	40名
	「IE手法」による生産現場の改善コース	教 育	6月16日(木)	富山商工会議所ビル	46名
	品質工学実践講座	品質管理	6月17日(金)	富山経協・研修室	16名
	労働法実務研修会(第1回)	人事・労務政策	6月22日(水)	富山商工会議所ビル	52名
	労働法関連法制研究部会(第1回)	人事・労務政策	6月22日(水)	富山経協・研修室	19名
	総務部会「見学研修会」	総 務	6月23日(木)	(株)パワー・アンド・IT	5名
	品質工学実践講座	品質管理	7月 1日(金)	富山経協・研修室	17名
部課長マネジメントコース講座	品質管理	7月6～8日(水～金)	山田村交流促進センター	23名	

経営特別委員会

■2011年度第2回委員会

6月10日(金)、2011年度第2回経営特別委員会を山田委員長はじめ委員11名が出席して、富山経協・会議室で開催し、企業理念見学会および一般社団法人移行後の委員会運営について審議を行った。

山田委員長より、三協立山アルミさんの人事異動による松田委員の紹介後、第1回委員会審議を受け見直した企業理念見学会案につ

いてご審議をいただきたいとの挨拶があった。引き続き事務局より、企業理念見学会のスケジュール、意見交換のテーマ、報告書のまとめ方について説明後、審議を行った。「企業理念見学会」については、①第1回でもあり参加者は政策委員会、経営特別委員会の委員、2011年度新会員を対象に募集を行う②意見交換は見学対応をいただいた企業さんに改善点などの提案ができるように仕掛ける③報告書

は見学会の流れに沿ってまとめるが、読みやすくする工夫を入れるなどの意見を受け、指摘事項を入れた内容で最終準備を進めることを決めた。

また、来年4月に予定している一般社団法人への移行にともない、当委員会は理事会直結の委員会になることを踏まえ、委員会の活動のあり方について意見交換を行った。次回委員会は8月26日に開催する。

総務委員会

■総務部会<企業見学研修会>

北陸電力(株)と(株)インテックが共同で設立した(株)パワー・アンド・ITのデータセンターがこのほど完成し、本格稼働前の6月23日(木)、部会メンバー5名が見学した。大庭正幸社長より施設概要の説明を受けた後、館内を案内していただいた。



データセンターは、入退室に関わるセキュリティシステムはもちろんのこと、東日本大震災以来関心が高まっている地震対策や水害対策にも万全の備えが見てとれた。

基礎部分の免震装置は5種の異なるものを組み合わせ、いかなる揺れにも対応するとのこと。実際、東日本大震災の際は未だ工事中であったものの全く揺れを感じな

かったという(富山市の公式記録は震度3)。また、洪水ハザードマップ上は危険性の低い土地ではあるが、建設地にさらに盛り土をした上で、電気設備も2階に置くなど、水害への備えも十分考慮されている。

大震災の経験から日本海側でのデータ保管ニーズが高まっており、富山空港から至近の当センターは全国的に注目され、問い合わせも多いとのことであった。

■社内コミュニケーション部会 <社内コミュニケーション 実務講座>

6月14日(火)、(株)インテック先端技術研究所の杉本圭優主事を講師に招き、「ネット社会の最近の動き」と題した実務講座を、40名が参加して富山経協・研修室で



開催した。

TwitterやFacebookなどソーシャルメディアの紹介に始まり、富山インターネット市民塾での活用事例、またスマートフォンとタブレット型端末を実際に持ち込んでのファミリーパーク園内ナビゲーションのデモ、大手企業の企業内SNSの活用事例など、内容は多岐にわたった。参加者は、最近の動きについて分かりやすく学んだ。

<社内報合評会>

6月14日(火)、実務講座に引き続き、社内報合評会を10社13名の出席により、富山経協・会議室で開催した。



各社から持ち寄った社内報最新号の内容を報告。時節柄、新入社員の紹介を特集するものが多く、各社各様の工夫などをテーマに意見交換した。

人事・労務政策委員会

■定例委員会

5月17日(火)、富山経協・研修室において、23名が出席して定例委員会を開催した。

はじめに、綿貫委員長が挨拶。新委員として、(株)でんそく山田取締役企画室長、(株)不二越情報システム宮本代表取締役社長を紹介。

今年度の活動計画について、①メンタルヘルス研究部会を3回程度開催する。②労働法関連法制研

究部会について、若干名増員することを確認した。

引き続き、富山労働局より講師を招いて「2011年度富山県労働基準行政について」の講演を聞いた。南茂賃金室長から、富山県の最低賃金は現在691円。最低賃金は一定の目安が示され、それを参考に地域で決定しているが、この目安は、①一人あたりの県民所得、②県庁所在都市別消費者物価地域別指数、③同都市別標準生計費など20項目



を取り上げ、その総合指数を元に各都道府県A~Dまでの4ランクに区分して決定されている。富山県は東京都を100とした総合指数

で、80.4と全国第11位、ランクはBとなっている。

続いて半田和義労働基準部長から、①解雇・雇止め・賃金不払い等事案（相談件数）は、2009年度10,326件から2010年度は6,957件と大きく減少している。②労働災害についても死傷者数は減少しているが、死亡者数は増加している。③メンタルヘルスについては、全国的に疾病者が急増しており、労働安全課を健康安全課に名称変更し対策に注力していくなどの説明を受けた。

講演後、意見交換を行った。

■労働法関連法制研究部会(第1回)

6月22日(水)、労働法関連法制研究部会を18名が出席して、富山経協・研修室で開催した。本部会は、今後年4回開催し、経営法曹会議・第一東京弁護士会の伊藤昌毅、木下潮音両弁護士を講師に、判例研究などをしていく。



第1回目は、今年4月12日に最高裁判決が出た「INAXメンテナンス事件」について判例研究を行った。

■人事・労務管理セミナー(第1回)

5月24日(火)、人事・労務管理セミナー(第1回)を「中堅・中小企業の人事・賃金」をテーマに、27名が参加して富山経協・研修室で開催した。

講師を務めた公益財団法人日本生産性本部代表経営コンサルタン

ト 元井 弘氏は、社員の納得性とやり甲斐を持たすために、企業をとりまく経営環境と経営・人事の課題、賃金制度改定検討の分野と条件、賃金決定の条件、給与制度の作り方（「給与表の作り方」と「昇給表の作り方」）、賞与制度の作り方、オープンで分かりやすい評価と賃金決定の仕組みづくりなどについて、具体的事例をまじえ、実務に役立つよう詳しく解説した。

また、7月8日(金)、人事・賃金に関して課題や質問のある人を対象に、同コンサルタントによる個別相談会を、富山経協・会議室で開催した。



■労働法実務研修会(第1回)

6月22日(水)、「募集・採用・入社にかかわる法的留意点」をテーマに労働法実務研修会を54名が

教育委員会

■定例委員会

6月13日(月)、20名が出席して富山経協・研修室で開催した。

金岡新委員長は「武内前委員長より引き継ぐことになった。先の経協総会後の野中先生の講演会においても改めて徒弟制度ならびにそれを支える知識の大切さを強く感じた。また、『考える』ことや『異業種交流』も重要であり、各社には歴史・背景・制度があり、それぞれの特長について学び合う

参加して、富山商工会議所ビルで開催した。



氷河期にたとえられる昨今の厳しい雇用情勢や東日本大震災の影響も加わり、雇用について今後とも厳しい状況が予想される中、一部で採用内定取り消しが行われ、社会問題化するケースも見られる。また、優秀な人材の採用のためには、応募者に関する様々な情報を得たいところだが、採用面接での質問事項等について行政による厳しい規制があり、使用者としてとまどうことも少なくない。今回は、募集、採用選考、内定、入社過程で、使用者として直面する諸問題への対応とその留意点について、判例や具体的ケースを取り上げながら、経営法曹会議、第一東京弁護士会の伊藤昌毅弁護士が分かり易く解説した。



事が大切である。その意味で、社員に研修などの貴重な機会を提供する教育委員会の役割は、ますます重要である。また、グローバル化への対応について各企業が前向

きに展開する動きが出てきており、当委員会のプログラムにも新しい動きを入れていきたい。今まで以上に会員サービスにつながる活動を進めていくので、委員皆様のご協力をお願いしたい」と新任の挨拶をした。

①2010年度の委員会活動については、「OJT・コーチングの実践事例」をテーマに研究部会を11社で立ち上げた。部会長に(株)不二越 戸田研修センター長、副部会長にトナミ運輸(株) 高田教育部長、北陸電力(株) 坪野研修センター所長が就任した。今後の進め方は、実践事例の研究をさらに深め、研究成果を小冊子にまとめ、会員企業へ発信する。

②講座・セミナーについては、2011年度4～6月の実績を報告した。第一線管理監督者講座（7月開催）、管理職マネジメント研修（9月から開催）について、各社

からの参加を要請した。

第2回定例委員会は8月に開催し、OJT・コーチングの実践事例をテーマに、今回参加各社の目的・位置づけ、推進体制、実践事例、問題点・課題をまとめたうえで、情報・意見交換を行う。

■「OJT・コーチング」研究部会

6月13日(月)、9名が出席して富山経協・研修室で開催した。「OJT・コーチングの実践事例」研究部会設置に至る経緯について事務局から説明後、各社の実情と問題点・課題について発表した。



第2回研究部会は7月11日(月)に、三菱レイヨン(株)富山事業所で開催し、同社見学後、各社の「OJT・コーチングの実践事例」について、事例発表や情報交換を行った。

■営業力基礎コース

5月16・17日(月・火)、営業力基礎コースを、富山商工会議所ビルで31名が参加して開催した。



公益財団法人日本生産性本部小林定夫主任経営コンサルタントが、営業プロセス、営業戦術、新規開拓、営業マナー、既存取引先への深耕、営業報告などの基本的知識

参加者NOTES

教育委員会

「2011年度 営業力基礎コース」を受講して

株式会社 リッチェル
海外販売課 共田 吉孝



私は、去年まで他の部署に所属しており、今年の初めに海外営業へ配属となり、営業の基礎を学ぶために今回の営業力基礎コースを受講させていただきました。

1日目には、営業に求められるもの、営業プロセス、営業戦術、新規開拓について学び、新規開拓の営業シーンにおける良い点・悪い点についてのスクリーン学習、顧客企業への初回訪問の仕方について、会話の切り出し、会社案内、商品説明、次回のアポイントをロールプレイングで行いました。

2日目は、営業マナー、営業知識、既存取引先の深耕、営業報告について学びました。ケーススタディ学習では、なぜ受注できたのか、失注したのかを実際の例をもとに、良い所と悪い所をグループ内で出しました。営業演習では、新規、商談、見積・注文、訪問時、既存取引、時間管理、報連相、クレームを実際の場面を想定してグループディスカッションを行い、自分の間違いを見つけることができました。

今回の営業力基礎コースでは、

営業の基本的な知識や技能を学び、他業種の方とグループディスカッションやロールプレイングを行い、訪問時のシナリオや注意点を学び、他社との交流も深めることができました。また、会社の経営方針、部門の方針をしっかりと把握の上で、個人の年度目標を立てること、顧客別に年度活動計画を作り、顧客実態を把握することの重要性を知りました。そして、講師から個人の成果について、「行動=意欲×(知識+能力)」の公式を教わり、行動しなければ、成果が上がらないことが強く印象に残りました。

まだ、営業として1年生ですが、今回の講習会を受講した内容を今後の営業活動に生かし、意欲を態度に表し、目標に向かって行動し、成果に繋がるよう、取り組みたいと思います。

や技能について、詳しく解説した。また、ケーススタディ「なぜ受注したのか、失注したのか」によるグループ討議や、新規開拓をケースにロールプレイング(役割演技)を実施した。参加者同士で相互評価を行うなど、これからの営業活動の実践に役立つ研修であった。

(「参加者NOTES」12頁掲載)

■ビジネス・マナー習得コース

5月19日(木)、富山商工会議所ビルで47名が参加して開催した。

講師のキャリア・カウンセラー長谷川綾子氏は、ビジネス現場で活用するための正しい接遇・応対の基本と応用について、何故このようなマナーが決められているのか、どうすればスムーズにできるのかを、解説と実際のケースをもとにしたロールプレイングを交え



て詳しく指導した。参加者は日頃から疑問に思っていたことが解決できた。実際の仕事に活かせる内容であった。会社で早速役立ててみたいなど、実践的な研修であった。(「参加者NOTES」13頁掲載)

■中堅社員活性化コース

6月7・8日(火・水)、中堅社員活性化コースを45名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。現代経営教育センター代表大塚講師から、企業環境の変化と職

場リーダーの役割・行動について学んだ。

職場リーダーとして、先を見据える技術を培い、備えることが大事であるとして、①企業環境の変化と自身の備え方、②リーダーの役割と職場改善の進め方、③権限と責任、協調性と積極性、問題解決(目標設定)の進め方などの役割行動、④上司とのコミュニケーション、⑤後輩指導とリーダーシップ、⑥長所の発見と自己改革のすすめ方等について、課題発見ワ



参加者NOTES

教育委員会

「ビジネス・マナー習得コース」を 受講して

富山電気ビルディング株式会社
総務部 総務課 岸本 真美子



この度、「ビジネス・マナー習得コース」を受講し、仕事をしていく上で、日頃から疑問に思っていたことを学ぶことができ、大変勉強になりました。

講師の長谷川綾子先生には、テレビ局のアナウンサーやキャリアカウンセラー、また専門学校の教員としての多くの経験談を交えながら、伝えることの大切さを教えていただきました。

まず始めに、第一印象が全てを決めるということです。相手の印象は、声の調子・身体の姿勢・表情などにより、93%も影響を受け、椅子の座り方・立ち方・礼の仕方

でも手の組み方一つで相手に与える印象が全く違うことを知りました。右手を下に、左手を上を合わせることで、利き手である右手で攻撃をしないという意思表示になり、今まで何気なくしてきたこと、人からこうするようにと言われたことには意味があり、理由があることを改めて考えさせられました。

二つ目に、乗客があった場合の接遇・対応についてです。ドアの開け方・お茶の出し方もお客様から見られているということです。これは、会社の指導が見られているということと同じことであり、相手への私の会社の印象にも繋

ってきます。応接室の上座・車に乗った時の上座など、案内した椅子が上座でなければ相手に失礼にあたり、時と場合によって対応も異なってくることから、その都度その場に合った対応を心掛けていこうと思いました。

三つ目に、電話対応での相手から言われたことの復唱の重要性についてです。ポイントをメモしながら復唱することで、相手にも自分にも確認でき、間違いが少なくなるとのことでした。

これら三つの事柄は、相手に自分の言いたいことを伝えるというコミュニケーションが大事になってくることだと思います。相手に好印象を与え、スムーズに言いたいことを伝え、そして、相手のことを考え思いやり、相手の行動を予測することで、今後の職場のコミュニケーションを円滑にできるようにしていきたいと思っています。

ーク、課題形成ワーク、ケーススタディなど演習や異業種交流を交えて学んだ。また、自己分析を通じて自分の長所(強み・ウリ)を発見し、キャリアアップを図るために、「この先10年、自己投資を怠らず、主体的に生きることが重要」との指導があった。

■ IEによる生産現場の改善

6月16日(木)、IEによる生産現場の改善を46名が参加して、富

山商工会議所ビルで開催した。

講師の(社)中部産業連盟 三木素直上席主任コンサルタントは、世界に伍してゆくモノづくりのためには、「絶えざる改善」が必須であることから、現場のムダとり・効率的なモノづくりの改善手法として有効なIEの基礎手法である、稼働分析、時間分析、動作分析、及び工程の配置と物の流し方などについて説明。成果を上げてゆく現場改善のコツを実際に活用でき

るようにすることを目的に、事例や演習を通して学習した。



会員の動き

(五十音順) (敬称略)

■ 代表者の変更

アイシン新和株式会社

代表取締役社長 森 秀雄 (前:大田 朗)

サンエツ運輸株式会社

取締役社長 品川 憲治 (前:村田健治)

シキボウ株式会社 富山工場

工場長 米原 聡 (前:橋場 潤)

センダン電子株式会社

代表取締役社長 武田 武美 (前:武田 修)

株式会社 損害保険ジャパン 富山支店

富山支店長 三條 紀明 (前:陶山雅弘)

株式会社 大和 富山店

取締役店長 村田 雅光 (前:久郷隆行)

立山黒部貫光株式会社

代表取締役社長 佐伯 博 (前:中村憲史)

東洋紡績株式会社 富山事業所

事業所長 杉之尾 晶 (前:柴田慎一)

富山化学工業株式会社 富山事業所

常務執行役員富山事業所長 室谷 美晴 (前:堀江秀明)

富山電気ビルディング株式会社

代表取締役社長 山田 岩男 (前:金井昌一)

株式会社 ナガエ

代表取締役社長 熊木 信雄 (前:長柄雅博)

株式会社 ナチロジスティクス

代表取締役 佐藤 敏彦 (前:中山忠行)

株式会社 姫野精工所

代表取締役社長 姫野 裕一 (前:姫野貞夫)

北電情報システムサービス株式会社

取締役社長 高松 正 (前:並木 誠)

北電テクノサービス株式会社

取締役社長 長谷川俊行 (前:森 榮一)

北陸コンピュータ・サービス株式会社

代表取締役社長 徳野 光宏 (前:岩田次雄)

財団法人 北陸電気保安協会

理事長 村田 幸平 (前:長田武嗣)

北陸発電工事株式会社

取締役社長 金井 豊 (前:赤丸準一)

矢崎総業株式会社 富山支店

富山支店長 中野 耕司 (前:河合良修)

■ 役職位の変更

中越パルプ工業株式会社

専務取締役 加藤 明美 (前:常務取締役)

日本高周波鋼業株式会社 富山製造所

専務取締役所長 永尾 卓己 (前:常務取締役所長)

日本ゼオン株式会社 高岡工場

執行役員工場長 藤沢 浩 (前:工場長)

日本曹達株式会社 高岡工場

常務取締役工場長 鷹見 伸佳 (前:取締役工場長)

株式会社 メタルワン特殊鋼 北陸事業本部

執行役員本部長 中山 利秋 (前:本部長)

■ 社名の変更

株式会社 新日軽北陸

(前:新日軽株式会社 北陸製造所)

■ 所在地変更

富山太平洋物流株式会社

〒931-8335 富山市西宮町2-36 (前:射水市三ヶ2237-1)

品質管理委員会

■品質管理セミナー

実践しながら学ぶ

統計的手法活用講座

「第55回実践しながら学ぶ統計的手法活用講座」を、5月12日(木)から10月6日(木)までの15日間のロングランの日程で、富山経協・研修室を会場に33名が参加して開講中である。

この講座は、企業における改善・改革活動を推進し確実に成果を上げるために、自ら問題点を見つけ、考え、行動する人材の育成をねら

いに、講義と職場の問題をテーマ登録し、グループ別に担当講師からカウンセリングを受けながら、品質管理手法を駆使し問題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめるという講座である。

33名の受講者は他企業の参加者との交流を図りながら、自己完結力の向上を目指して、折り返し点を迎えた当講座を真剣に受講している。



表紙の花
熱帯スイレン

夏の水辺にさわやかな花を咲かせるスイレン。最近人気があるのが、鮮やかな色をした熱帯スイレンです。

スイレン(睡蓮)は園芸上、温帯スイレンと熱帯スイレンの2つのグループに分けられます。温帯スイレンは耐寒性のあるスイレンで、ふつうにスイレンというところの仲間を指します。フランスの画家、クロード・モネはたくさんのスイレンの絵を描いていますが、彼が活動していた頃、フランスで赤やピンク、白、黄色と、様々な花色の品種が作り出されました。

一方、熱帯スイレンは、熱帯域の原種をもとに作られた品種群で、耐寒性がありません。葉はフチがギザギザになり、根茎は温帯スイレンのようなワサビ状でなく球根になります。花は花卉が細長く、大きく開き、水面から上に出て咲くという性質があり、夜咲き性の種類や、花色に青色や紫色があることは、温帯スイレンにはない特徴です。

熱帯スイレンの生育には20℃以上の水温を必要とします。一年中楽しむためには、植物園の温

室のような設備が必要ですが、富山では6月中旬から9月までは月平均気温が20℃以上ありますので、屋外で十分栽培可能です。苗は園芸店で入手できます。水草用の土か田土(荒木田土)で5号以上の駄温鉢に植え込み、水鉢に沈めます。肥料は、緩効性の化学肥料を土に埋め込みます。日当たりの良い場所に置き、ポウフラ対策としては、メダカを入れてやると良いでしょう。9月いっぱい花を楽しむことができます。冬越しは、霜が降りる頃まで外に置いて球根を充実させ、その後葉を切り取り、水の入ったバケツや厚手のポリ袋に鉢を入れ、室内で10℃前後で越冬させます。

今年の夏、熱帯スイレン栽培に挑戦してみたいかがでしょう。

(富山県中央植物園 中田政司)



温帯スイレン

新会員紹介

(五十音順)

■ 学校法人 高岡第一学園

所在地 高岡市戸出石代307番地3
代表者 理事長 川原 隆平
設立 1959(昭和34)年4月
従業員 200名
事業内容 大学、高校、幼稚園、幼児
教員養成



■ タカノ建設株式会社

所在地 富山市西中野町1丁目7番27号
代表者 代表取締役社長
高野 二郎
創業 1919(大正8)年5月
資本金 1億1,000万円
従業員 40名
事業内容 建築事業(マンション・ア
パート建設、医療・福祉施
設建設、オフィス・工場建設、店舗・住宅建設、
公共施設建設)、土木事業(宅地造成、道路施
設下水道施設、舗装工事)



■ 株式会社 ナチサーモテック

所在地 滑川市大掛176番地12
代表者 代表取締役会長
山田 寛
設立 2008(平成20)年7月
資本金 5,000万円
従業員 52名
事業内容 熱処理・コーティング装置
の製造販売、メンテナンス



■ 山崎コンクリート工業株式会社

所在地 中新川郡上市町川原田21番地
代表者 代表取締役 山崎 宗良
創業 1961(昭和36)年3月
資本金 2,800万円
従業員 7名
事業内容 コンクリート二次製品、
鬼瓦白地製品製造販売



人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください。

(2011年4月「東日本大震災出向等支援対策本部」を設置し活動中)



since 1987

出向・移籍(転籍)の専門機関

財団法人 **産業雇用安定センター**

〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F

TEL 076-442-6900

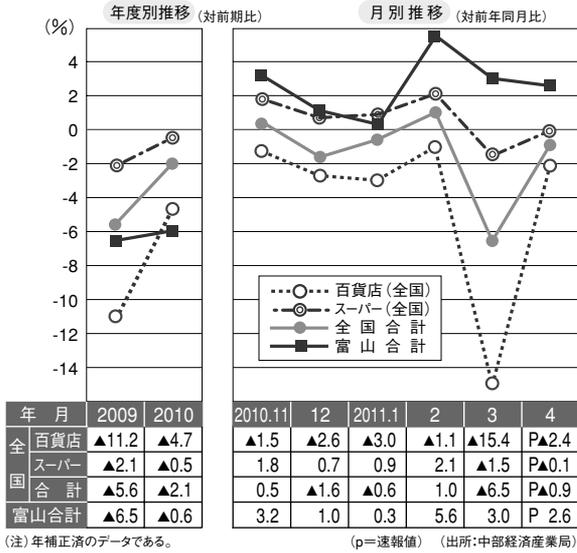
ご利用時間/9:00~17:00(土・日・祝日は休み)

FAX 076-439-2860

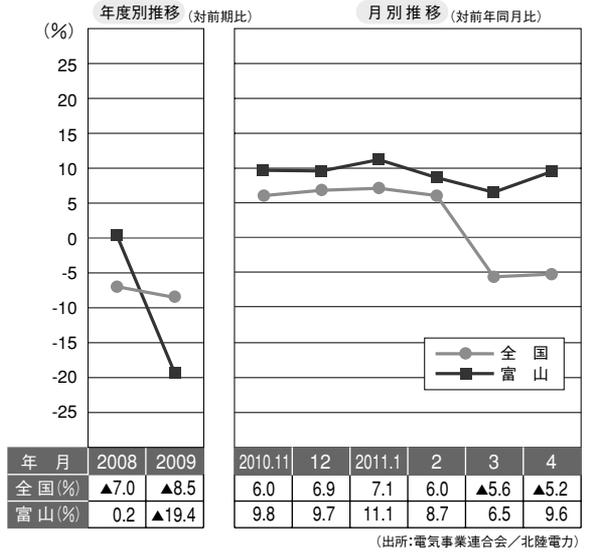
インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況指標

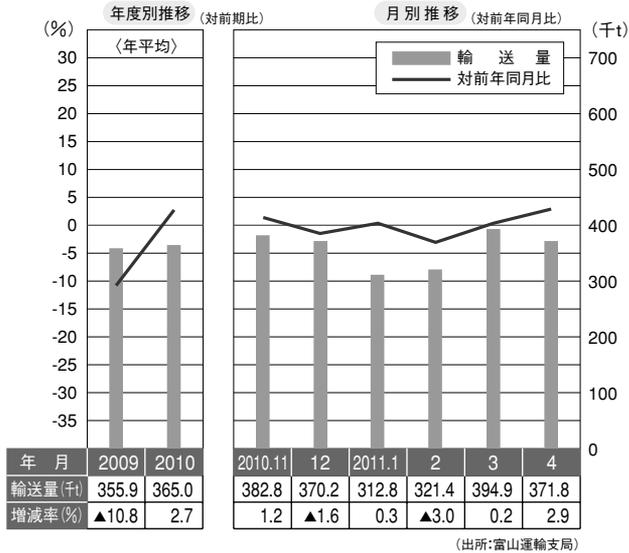
■百貨店・主要スーパーの売上高



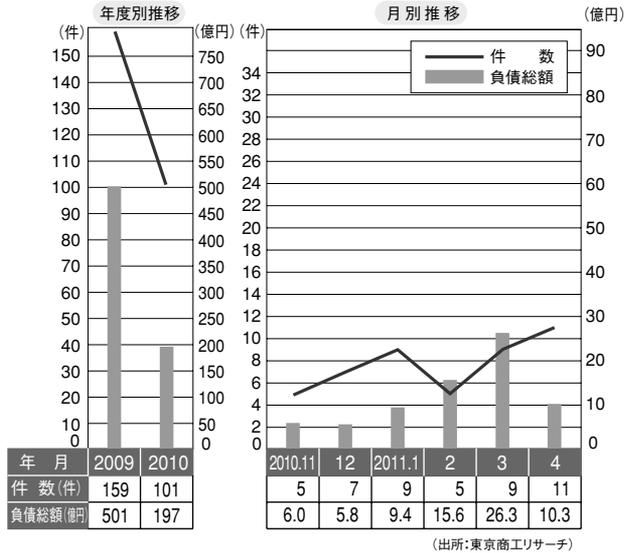
■大口電力消費量 (製造業計)



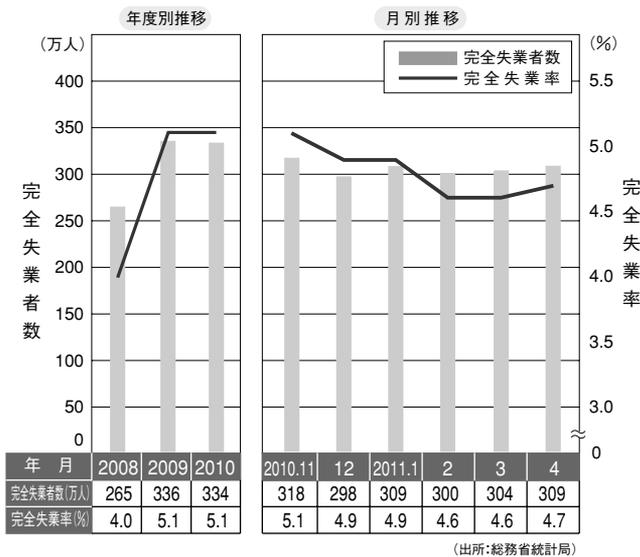
■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



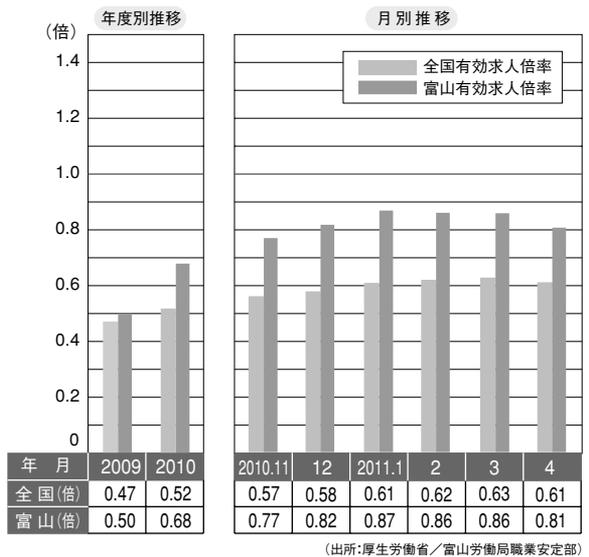
■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



品質管理委員会

TQM経営者トップミーティング

対象：企業経営者・役員（執行役員含む）
 国内優良企業トップによる実際の事例を講義で学び、グループディスカッションを通して実践力を築く。
 ■日時：9月2日(金) 14:00～19:00
 ■場所：富山第一ホテル 2階 若草の間
 ■講師：ヒロセ電機(株)
 代表取締役社長 中村 達朗
 ■受講料：会員20,000円／会員外30,000円
 ■定員：25名（先着順）

ヒューマンエラー対策講座

■日時：9月21日(水) 9:30～17:00
 ・22日(木) 9:00～16:30
 ■場所：富山県市町村会館
 ■受講料：会員 30,000円／会員外 60,000円
 ■定員：50名（先着順）

環境委員会

富山県生活環境文化部との情報交換

■日時：8月26日(金) 14:00～16:00
 ■場所：富山県経営者協会・研修室
 ■講師：富山県生活環境文化部
 ■参加費：無料
 ■定員：50名（先着順）

ISO14001内部環境監査員養成講座

■日時：9月27日(火)・28日(水)
 9:00～17:00
 ■場所：富山商工会議所ビル
 ■講師：ムーディ・インターナショナル・サーティフィケーション(株)
 環境審査員 和田 浩志
 ■参加費：会員20,000円／会員外 40,000円
 ■定員：30名（先着順）

行事予定(つづき)

※裏表紙最終頁よりつづく

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
セミナー講座	9月1日、15日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	9月2日(金)	14:00～19:20	TQM経営者トップミーティング	品質管理	富山第一ホテル	19頁INFORMATION参照
	9月8日(木)	9:30～16:30	女性リーダーキャリアアップセミナー	教育	富山商工会議所ビル	18頁INFORMATION参照
	9月10日(土)	9:30スタート	第116回会員交流ゴルフコンペ	文化交流	呉羽カントリークラブ(立山)	18頁INFORMATION参照
	9月16日(金)	13:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
	9月16日(金)	13:30～16:00	労働法実務研修会(第2回)	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	18頁INFORMATION参照
	9月16・17日(金・土)	9:00～13:00	管理職マネジメント研修	教育	富山県農業総合研修所	
	9月21・22日(水・木)	9:30～16:30	ヒューマンエラー対策講座	品質管理	富山県市町村会館	19頁INFORMATION参照
	9月27日(火)	13:00～17:30	企業理念見学会	経営特別	武内プレス工業(株)	
	9月27日(火)	13:30～16:30	改善力養成セミナー(基礎編)	教育	富山商工会議所ビル	18頁INFORMATION参照
	9月27・28日(火・水)	9:00～17:00	ISO14001内部環境監査員養成講座	環境	富山商工会議所ビル	19頁INFORMATION参照
	9月28日(水)	9:30～16:30	経理・財務の基礎コース	教育	富山商工会議所ビル	18頁INFORMATION参照

◆ 富山地区会員懇談会 ◆

9月9日(金)

場所：名鉄トヤマホテル

17:40～ 講演会「森、人、いのち、地域を元気に」

富山市ファミリーパークの取り組みと、日本の動物園・水族館の目指す道

講師：富山市ファミリーパーク 園長 山本 茂行 氏

18:40～ 懇親会

(別途ご案内申し上げます)

行事予定

2011年7月15日～9月30日

(9月以降のセミナー関係は、19頁をご覧ください。)

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)

「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
会	7月19日(火)	15:30～	富山県工業教育振興会総会		名鉄トヤマホテル	
	7月22日(金)	14:00～16:00	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	(株)不二越滑川事業所	
	7月22日(金)	16:30～	人事・労務政策委員会「メンタルヘルス研究部会」	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	7月27日(木)	15:00～17:00	環境委員会 第2回情報交換会	環 境	富山経協・研修室	
	8月 9日(火)	16:30～	環境委員会「幹事会」	環 境		
	8月10日(水)	15:00～17:00	文化交流委員会「企業見学会」「定例委員会」	文化交流	明治安田生命富山ビル	
	8月17日(水)	16:30～18:00	教育委員会「定例委員会」	教 育	富山経協・研修室	
	8月19日(金)	17:00～	総務委員会「定例委員会」	総 務	富山電気ビル	
	8月24日(水)	15:30～17:30	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	8月26日(金)	16:30～18:00	経営特別委員会	経営特別	富山経協・研修室	
	9月 9日(金)	17:00～17:30	政策委員会		名鉄トヤマホテル	
	9月 9日(金)	17:40～20:00	富山地区会員懇談会		名鉄トヤマホテル	上記おしらせ参照
講	9月16日(金)	16:30～18:30	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	7月21日(木)	9:30～16:00	第2回第一線管理監督者講座	教 育	富山商工会議所ビル	
	7月22日(金)	13:30～16:00	人事・労務管理セミナー(第2回)	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	7月28日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	7月28日(木)	9:30～16:00	第3回第一線管理監督者講座	教 育	富山商工会議所ビル	
	7月29日(金)	9:30～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
	8月 3日(水)	16:00～18:00	管理職マネジメント第3期同期会	教 育	富山経協・研修室	
	8月4日、25日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室	
	8月 5日(金)	9:30～16:30	女性社員キャリアアップセミナー	教 育	富山商工会議所ビル	18頁INFORMATION参照
	8月19日(金)	13:00～16:00	品質工学実践講座	品質管理	富山経協・研修室	
8月26日(金)	14:00～16:00	県生活環境文化部との情報交換	環 境	富山経協・研修室	19頁INFORMATION参照	

※19頁につづく

「富山経協」vol.795

2011年(平成23年)7月号
2011年7月15日発行(隔月〈奇数月〉15日発行)

社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール info@toyama-keikyo.jp